



みなと

みなと 47号 2015年12月1日
兵庫県声の図書赤十字奉仕団
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
日本赤十字社兵庫県支部内
(Tel)078-241-9889 (Fax)078-241-6990
代表者 久保田 加奈女
編集者 本川 勝子

第26回交流会



平成27年度

兵庫県声の図書赤十字奉仕団第26回交流会を終えて

雨の予報に心配していましたが、何とか空模様も曇りのままで、リスナーさん51名、をお迎えし、開会の運びとなりました。(同行者、団員他総勢160名)

日本赤十字社兵庫県支部奉仕課長とリスナー代表として東京からご出席の小玉則男さんから挨拶を頂きました。

姫路赤十字看護専門学校学生奉仕団副団長の高司莉里^{たかきりり}さんに出席いただきました。

秋色いっぱいの食事のあと、今回のメインイベントとして、「ばりとん亭千秋」さんにカンツォーネの楽しさを、軽快なトークを交えて披露していただき、全員で「フニクリ・フニクラ」と「サンタルチア」を、声を合わせて歌いました。さらに、リスナーさんの要望でアンコールの曲を、マイクを通さず生の歌声を聞かせていただき、参加者一同カンツォーネの素晴らしさを堪能させていただきました。

また、歓談の時間には、各テーブルの団員(3~4人)とリスナーさんとの話も弾み、いろいろ感想やご意見を頂くことが出来ましたので、できればまとめて声のアルバムでリスナーの皆さんにお届けしたいと思っています。すぐに答えの出ないことでも話し合う機会を持てたことが交流

会の大切な主旨ではないかと、回を重ねるごとに思います。

準備などで大変なこともたくさんありますが、団員の皆様の精一杯の「おもてなし」によって、これからも交流の機会を大切にしていきたいと願っています。

終わりに、このたびの交流会の開催にあたり、太陽生命厚生事業団から助成金をいただきましたことにお礼申し上げます。

11月23日 片山 恵



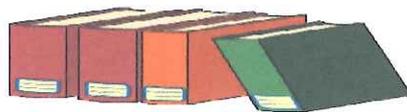
社業功労支部長特別感謝状を受章



平成27年11月24日（月）国際会議場ポートピアホールにおいて「支部創立125周年記念赤十字大会」が名誉副総裁秋篠宮妃殿下御臨場のもと開催されました。兵庫県声の図書赤十字奉仕団は長年のボランティア活動に対して日本赤十字社兵庫県支部長から「社業功労支部特別感謝状」を頂きましたことを報告致します。

久保田加奈女

予期せぬ点字との出会い



物心ついた頃より、本が大好きで、外で遊ぶことより、文字もロクに読めないのに絵本を眺めているのが、私のお気に入りの時間でした。

父が本好きで、大きな本棚が並び、黄色い表紙の全集が、ズラリと並んでいたのを、今でもはっきりと目に浮かびます。絵本にあきると、全集の1冊を引っ張り出し、内容は勿論分かるはずもなく、読める文字を拾い出して眺めて？いるのが、私の至福のひとつでした。

小学校にはいると、益々本好きに熱が入り、日の暮れるのも忘れて読むのに夢中でした。

就職してからは、多忙な職場で、あまり余裕もなく、通勤時間が読書の貴重な時間でした。退職後によく、時間と精神的にも余裕ができ、何をすべきかと、思考中に新聞のボランティア募集欄で、盲人の方々への朗読の講習がある事を知り、これだとばかり勉強しようと、応募したものの、マイクを通しての朗読は、予想以上に難しく、何度か挫折しそうになりましたが、先生始めグループの面々に支えられ、どうか今日迄、続けられております。その中で、点字の事を知り、しかもまたまた、新聞で「点字を障害者センターで教えます」との受講生の募集を知り、思いがけないチャンスに、一度トライしてみようと。全くの白紙状態でしたが、参加させていただくことになりました。

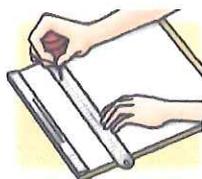
始めはとても私には、無理かと思いましたが、先生ご自身が高校時代に、失明され、大変ご苦労なされたとの話を聞き、その為にも健常者に点字を知ってもらいたいと、月1回、障害者センターで教室を開くことを決めたそうです。

最初は、とても無理と思いましたが、少しずつ理解できるようになると、逆に興味がわき、半分、意地になって、のめり込むようになりました。でも奥が深く、朗読共に、まだまだ勉強中です。

朗読・点字の両先生に未知の世界を教えて頂いたことに深く感謝です。

点字班

安藤陽子



発送チーム



「日赤声のアルバム」発送チームの作業は大きく分けて二つあります。一つはリスナーに送るCDを作る事、もう一つはそれを個々のリスナーに発送する事です。

CDを作る作業は次のような内容です。

先ず準備作業を行います。

- ① 受け入れチームから渡された返送CDを一枚ずつ傷がないかチェックして、録音面を拭く。
- ② 発送枚数に足りなければ新しいCDを追加して、ラベルを貼る。
- ③ 4回以上使用したCDは完全消去して、ダビングに備える。(CDのラベルの該当月にラインを引き、完全消去歴を明らかにする)

この3つの作業を行い、必要な枚数のCDを確保します。

次にCDの作成作業を行います。

- ④ マザー作成チームから受け取ったマザーCDから、ダビング機が4台あるので3枚のサブマザーCDを作る。ダビングするCDはなるべく使用頻度の少ない物を選ぶ。
- ⑤ サブマザーCDをモニターして、品質を確認する。
- ⑥ リスナーの人数+モニター分をダビングする。(当月のモニター担当グループが全部を聴いて、細かな問題点をチェックし、報告する)
- ⑦ ダビングしたCDのラベルの該当月にチェックをつけて、使用歴を明らかにする。
- ⑧ 出来たCDを一枚ずつモニターして品質を確認し、OKなら発送担当に渡す。

発送作業は次のような内容です。

- ① リスナー名簿の管理者から受け取った名簿を基に、退会者・中止者をチェックして、今月の発送数を確定する。
- ② 返送されたCDケースに今月号のラベルをセロテープで貼る。ケースが破損していれば修理するか、新しいケースに取り換える。(ラベルは点字班が作って下さいます)。
- ③ 受け入れチームから回って来たリスナーの個人カードと郵送用の宛名カードをチェックし、宛名カードが無いものは予備のカードの中から探し出す。それでも無いものは新しく作る。
- ④ 個人カードと宛名カードの数が、①で確定した数と合っているか確認する。合わなければどれが間違っているか原因を究明する(全て手作業なので稀にミスが起こる)。

- ⑤個人カードに今月号の月と発送日を記入する。
- ⑥専用の郵袋にCDを入れ、宛名カードを表のポケットに入れる。
- ⑦発送用の箱に詰めて発送する。

今まで奉仕団の各グループがテープで送っていた分が、

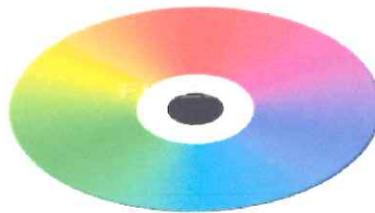
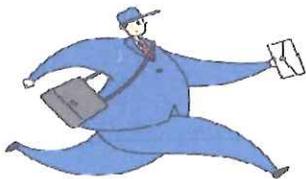
*テープ用ダビング機が故障して、修理に相当の費用が掛かる事、

*世の中全体のテープに対する需要が大幅に減って、先行きの生産が懸念される事、などから、テープ発送が取り止めとなりました。

発送がデイジーのCDに絞られた結果、約170名だったリスナーが約210名に急増して、作業量が増えました。幸い各グループのテープ作成から解放された方々など、有志が手伝って下さるので、時間的には従来と変わりなく終わられています。

各グループが毎月作成される情報のリスナーへの伝達手段がデイジーだけになり、益々責任が重くなりました。皆様のご支援・ご協力を得ながら、リスナー一人一人に間違いなく届けられるように、今後も努力して参ります。

デイジー班 山本登一





朗読勉強会に参加して（講師は阿部陽子先生）

6月から朗読・音訳を見直す会に参加させていただいております。PHPの視聴、録音図書制作マニュアルの改定版作成に向けての話し合いは、声の図書奉仕団の音訳レベルアップのために大切な作業です。また、何度か行われている朗読勉強会も、個々のレベルを上げる貴重な機会です。

今回は、講師に阿部陽子さんをお迎えして、14名の団員が参加しました。課題は山本周五郎の「竹柏記」からの抜粋で、テーマは「スイッチの切り替え」です。みなさんそれぞれよく読み込まれていて、とても勉強になりました。

阿部先生からは、

- ① 情景描写、叔母の登場、そしてまた情景描写、最後に主人公の孝之助と叔母の会話と、それぞれの場面をいかに区別し切り替えるかを考える
- ② 会話文の前の間に注意する
- ③ 助詞はのばさない
- ④ 文中の『……………』や『—————』の扱い方をよく考える

などのポイントを、説明していただきました。

『間は魔物の魔に通じる』ともお話しされ、間の大切さ、文章を固まりで捉える事がいかに重要であるかを改めて確認しました。

朗読・音訳を見直す会 久保田 加奈女



朗読・音訳を見直す会だより 第13号

朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳に必要と思われることを発信していきます。

今回は、「後」の読み方Q&Aです。

Q：あと（後）と読む場合はどんな時？

A：空間的な後の場合

- | | |
|---|------------------------|
| ① 前方へ進んで行くものの背後の方向 | ① <u>あと</u> からついて来る |
| ② 連続するもので基準となるもののうしろ | ② 上司の <u>あと</u> に部下が従う |
| ③ 連続するものの次にくるもの | ③ 社長の <u>あと</u> を継ぐ |
| ④ ある時点を基準にしてのち | ④ 食事の <u>あと</u> に～する |
| ⑤ 現在から振り返って見た過去のある時点 | ⑤ 話を <u>あと</u> に戻す |
| ⑥ 物事が終わってから残されたもの | ⑥ 亡父の <u>あと</u> を弔う |
| ⑦ 数詞に冠して副詞的に条件をみたすために、さらにそれだけ数量を必要とするさま | ⑦ <u>あと</u> 5分で |
| ⑧ 口頭語で接続詞的に さらに、そのうえに | ⑧ <u>あと</u> 何かありませんか |

Q：のち（後）と読む場合はどんな時？

A：時間的な後の場合

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① ～した、～の、 の形で | ① 大学を卒業した <u>のち</u> |
| ② 時間を表す数詞を付けて | ② あれから2カ月の <u>のちに</u> |
| ③ これから先、将来、特に死後 | ③ <u>のちに</u> 備えて |

Q：ご&こう（後）と読む場合はどんな時？

A：時間的・空間的な後の場合で慣用音の場合。漢音はコウと読む

- | | |
|------------------|--|
| ① 時間的にあと | ① その <u>後</u> （ <u>ご</u> ）後日（ <u>ご</u> じつ）後悔（ <u>こう</u> かい） |
| ② 空間的にうしろ | ② 前後（ <u>ぜん</u> ご）後続（ <u>こう</u> ぞく） |
| ③ あとになること、おくれること | ③ 後家（ <u>ご</u> け）人後（ <u>じん</u> ご）後輩（ <u>こう</u> はい）
後手（ <u>ご</u> て）※後手（ウシロデ）と読む場合あり注意！ |

朗読・音訳を見直す会 小石則子



単行図書検討会



団員の皆さんには、平素、単行図書の製作にご尽力くださりまして大変有難うございます。今年度も、4月～11月で、11作品をCD化することが出来ました。内訳は、リスナーからのリクエスト本が5冊、単行図書検討会の推薦本が3冊、団員の自選本が3冊です。また、現在23作品を製作中です。皆さんの熱意とご努力に感謝申し上げます。

今回は、単行図書録音に関して3点お伝えしたいと思います。

1. ノイズについて

録音中に往々にしてクリック音、口中音、吹き音等が入ることがありますが、自己校正の際に消去してくださるようお願いいたします。読みの部分と離れている箇所にあるノイズは、フレーズのカットで除去できます。息の音や、背景に入っているかすかな音はサウンドエンジンフリーのノイズサプレッサー（低減）で消すことができます。しかし、読みの部分と重なっている「プチ」や「パチ」という音は、サウンドエンジンでは消せません。ご面倒ですが、読み直しをお願いします。なお、サウンドエンジンの低減を何回もかけますと、音質が変わりますのでお気をつけください。口中音を少なくするには、録音前に、顎関節をよくマッサージし、口を開けて下顎を左右に動かすなど、口の周りの筋肉をほぐすと良い、と聞きました。試してみてください。

2. 読み詰まりについて

文章を読んでいる途中で、「うっ」と詰まって、他の音がかすかに入ったり、空白が微妙に出来たりということがあると思います。そういう場合は、必ず読み直しをお願いいたします。読み詰まりや読みよどみがありますと、その図書が大変雑な図書とわれてしまいます。

3. 音量・音質について

校正を受けて修正した場合に、音量や音質が変わることがよくあります。音量や音質がクルクルと変わると、聞きづらい図書になります。修正する時は、前後の録音のスピード、音量、読み方をよく聴き、十分声出しをしてから、前後と違和感ない録音をするようお願いいたします。

毎回お願いしていますが、リスナーから「単行図書の録音希望、貸し出し希望」の電話を受けられましたら、電話の横に置いている所定用紙にご記入のうえ、録音希望は「単行図書検討会」、貸し出し希望は「ことばの花束」のメールボックスに入れてください。お手数ですが、宜しくお願いいたします。

単行図書検討会 池内早苗



花時計プログラム



花時計 6月号	ともしび
A面	
1. 日本玩具博物館	
	「世界の鳥の造形」展を訪ねて
B面	
2. のだふじ	
3. 「ヴェネツィアの宿」	須賀敦子著
4. 新しいデイジー単行図書のご案内	

花時計 7月号	ことばの花束
1. 甲子園歴史館	
2. 夏の風物詩「せみ」	
3. からだと水	
4. 夏の思い出	
5. 世界をさわる	
6. 美味しいエッセー	
7. お便りとお知らせ	

花時計 8月号	はあもにい
デイジー版	
1. ワクワク、ドキドキ	
	どんな人に会えるかな
	元住吉中学校教諭 川尻紀子さん
2. スイスレポート	
3. 詩の朗読	
4. Marcyのミュージックカフェ	
5. 新しいデイジー単行図書のご案内	

花時計 9月号	神戸YWCA
1. トルコ気まぐれ道中記	
2. 橙のボールと子規	
3. 六甲山牧場のひつじ	
4. 音楽は神様からの贈り物	
5. ニがママになりましたん	
6. あのね	
7. 交流会のお知らせ	
8. 新刊図書案内	
9. お便りコーナー	

花時計 10月号	こすもす
1. 題名のない番組より・・・米朝よもやま噺	
2. お酒のエッセー「古酒の味」「古酒の爛」	
3. 河合和子の旅より	
4. 折々の言葉	
5. 暮らしの手帳 「月々の名」	
6. 世界の民謡より（ブラジル民話）	
	「かめのこうらはひびだらけ」
7. 交流会のお知らせ	
8. 新しい単行図書のお知らせ	
	お便りコーナー・さよならの挨拶

花時計 11月号	あかりの会
1. 東日本ボランティア活動に参加して	
2. NHKハート展の中から	
	10編の詩の朗読
3. 朗読 「虹をかける」	
4. 朗読 「狐」	
5. 群読 「アフリカ像の家族」	
6. 朗読 「結露対策」	
7. デイジー新刊図書のご案内	
8. デイジー単行図書目録CDのご案内	
9. 交流会のご案内	



リスナーだより



牧野 まりえ 2015.6.29

こんにちは、声のアルバム6月号ありがとうございます。

それぞれ楽しませて頂きましたが、今回は特に花時計の3本の内容と話し方、朗読共に心地良く聴かせて頂きました。石田むつみさんの取材された日本の玩具館には一度行きました。

「鳩笛」昭和37年に下関で買ったものが、まだ実家にあります。また、水笛は昭和30年代にお世話になったセキゼン学園で「おもちゃ交響曲」に使われていました。懐かしさと新しい音にワクワクでした。

「のだふじ」の谷部さんの内容にも関心を持ちました。前川さんの朗読も感動でした。

「かざぐるま」の鈴木光代様の「もの風景うんどうたび」始めて知りました。私も使ってみたかったです。

PHPの記事も楽しませて頂きました。また「やまなみ」の記事では世界の旅のかさいよしひこさんのベトナム「サバ」を聞きながら、長女が10数年前ベトナム空港に勤務して毎週行き来していた頃を思い出していました

また温泉道楽のすすめで「ゆっくり湯治のすすめ」で三朝温泉が出て来ました。私の故郷は大阪にいた伯母が湯治で良く来ていました。タレントの植木等さんは三朝温泉病院にしばしば来られていたと田舎の人に聞きました。エレベーターで一緒になった等。

「雪」に出ていた「消防隊カレー」を始めて知りましたので購入してみます。

小島 みさ子 2015.7.7

毎日楽しく聞かせて頂きありがとうございます。

この度は無理なお願いをして6月号を送って頂き感謝しております。これからも多方面にわたり、沢山の情報を届けて下さい。楽しみにしております。

牧野 まりえ 2015.7.28

7月も後半になりましたいつもありがとうございます。

どのプログラムの内容楽しく関心を持ちながら聞かせて頂きました。

なかでも「つちのこ」の作品に引かれました。

香山 良樹 2015.7.28

いろんな情報ありがとうございます。「やまなみ」で遺伝子、操作についての情報しりました。

なんでも、つつこみ過ぎると必ず悪い方向に行ったり、差別を自嘲したりで、筋ジストロフィーのような難しい病気は直せるようになってほしいと願っていました。

柴田 みつえ 2015.8.18

戦争にまつわる随筆ありがとうございます。私は戦後生まれで戦争の悲惨さは聞いて知っているだけです。

戦後70年今も世界のいたるところで人を殺す武器が作られています。何百人犠牲になったら止むのでしょうか。人の罪のしたたかさを感じます。ここにおいては良い人も多いのに、そ一思いませんか。

萩尾 節子 2015.8.18

立秋になりましたが暑い毎日です。

毎月声の図書を送って下さりありがとうございます。楽しく聞かせて頂いております。

今回 PHP 中の「談話室」が3回も入っていました。これからもよろしくお願ひいたします。スタッフの皆様お体を大切に。

後藤 克子 2015.8.25

日赤声のアルバムを楽しく聞かせてもらっています。内容も勉強になり忘れてしまうようで点字で聞き書きをして何度も読んでいます。

お盆がすんで朝晩は少ししのぎよくなりましたがまた猛暑が来るようです。皆様ど一ぞお体ご自愛くださいませ。

賀屋 喜美子

2015.9.2

皆様方のご厚情
深く感謝いたしま
す。私も年齢的に
余り多くの行動が
取れなくなって来
ましたので、今回
をもってご送付打
ち止めして頂くよ
うにお願い致しま
す。

阪本 典子 2015.9.29

戦前、子供の頃、四角の木の押し車に伊勢たくあんを積み込んで、おばさんが家の前に行商して来ていました。「おおきに なつとやな」と「なあ」と、のぼした伊勢ことばで、やさしくおとなしく話していたのを覚えています。

修学旅行でお伊勢さんに行きました。

市内が右側通行だったのを珍しく不思議でした。夢のように思い出しています。

サラリーマンになって宇治山田の駅前の横丁でスープのない本物の伊勢うどんを食べました。(中略) 珍しくおいしかったです。

鳥羽の旅館で、にたり貝、そっくり貝、の標本のビンを見せてもらい、それこそびっくりしたのも、昔の話。

井上 至雄 2015.10.27

私は「あじさい」「やまなみ」「花時計」などの気になる記事、残したい話などを点字のノートに留めております。自分でメモは出来ませんし肝心な所を聞き落としたり、もう 200 ページくらいのファイルが 2 冊。

「せん虫でガン分別発見とか、今月号の歯周病など勉強になる話の糧になるなと思って点字のノートを作っています。

著作権とか、転載件とか、難しい事はさしおき申し出ることもお許しを願ひ出ることもなくしていたもので、大変失礼なことと今さらのように思っています。ありがとうございます。

木幡 由美子 2015.10.20

拝啓 紅葉の候、貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。この度「はあもにい」で朗読ボランティアをしている伯母の羽島敦子の紹介で利用登録をさせていただきます。東京在住の木幡由美子と申します。

以前は新聞のコラムや投書欄を読むのが毎日の楽しみで、そこで多くの知識を得たり影響を受けたりしておりました。しかし、2013年に緑内障が急激に進行して新聞の大見出しさえ判読するのが困難になってからは虚しさを感じることもしばしばでした。今回お借りした CD を拝聴して、言葉にならないほどの喜びを覚えました。一昨年 1 月に妹を卵巣がんで亡くし、今年 5 月に自身が S 状結腸ガンの手術を受けて、この夏、東京医科歯科大学でがん患者団体支援機構によるサピサポーター養成講座の研修を受けて修了証書をいただいたところだったので、ガンに関する記事は非常に興味深く聴かせていただきました。これからもとても楽しみです。

お忙しい中、視覚障害者のためにボランティアに参加して下さっている皆様にして日赤スタッフ各位に心よりお礼申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。末筆ながら、朝夕は初冬のような肌寒さになってまいりましたので、皆様どうぞご自愛ください。

敬具

